

テーマ ■ 思考力と表現力の育成 —地上デジタル放送やデジタル教材を用いて—

●活用番組 「日本とことん見聞録」「えいごであそぼ」

コーディネータ 中川 一史（独立行政法人メディア教育開発センター）
 発表者 浅香 一世（大阪府高槻市立阿武山小学校） 梅津 靖子（東京都東三鷹学園三鷹市立第一小学校）
 助言者 椿 泰文（文部科学省生涯学習政策局参事官） 秋元 大輔（千葉県船橋市教育委員会）
 制作者 武田 一則（NHK学校教育番組部）
 司会者 田端 芳恵（東京都目黒区立下目黒小学校） 記録者 本荘 夏子（東京都世田谷区立若林小学校）

1 発表概要（2つの模擬授業での実践紹介）

(1) 梅津先生による実践報告

デジタル放送番組を活用した英語活動（小学校1年生）～「えいごであそぼ」の視聴を通して～
 梅津先生は、英語活動のねらいを「コミュニケーション能力の素地を培っていくこと」であると考えている。デジタル放送番組の活用はコミュニケーション能力の素地を培うのに有効であり、それは、同じ番組を児童が視聴することによって、イメージ共有と活動の見通しをもてるからである。

番組の視聴により、英語の音声やリズムなどに慣れ親しませることができ、自分の思いを伝える、相手の思いを理解するという活動を体験させることによって、表現力・思考力の育成を図ることができる。

(2) 浅香先生による実践紹介

～5年社会「日本とことん見聞録」を通して～
 「思考」の土台となる知識を、番組や動画クリップを活用して定着を図り、それを手がかりとして、思考力や表現力の向上を目指した実践を行ってきた。自動車工業にかかわって「環境・安全を考えた未来の自動車のカタログづくり」を通して、どのようなコンセプトの車を消費者は求めているかを考えさせる中で、思考力を向上させるとともに、学習内容の発表により表現力を育ててきた。

2 パネルディスカッション

(1) 秋元大輔氏

梅津先生の授業では、英語番組の視聴を継続することで、子どもは番組の内容がよく理解できるようになっている。番組では、きれいな英語が流れ、ゲームなどを行いながら進めていてあつとい

う間に45分が過ぎてしまう。浅香先生の授業は、番組を見せ、自分で未来の車を考え、その根拠も考えさせるなど、思考するしかけがある。またデジタルテレビについては、教室の標準装備の視聴覚機器であり、来年度から3年間が導入のチャンスでもある。

(2) 椿泰文氏

全国の小中高等学校等におけるテレビのデジタル化は、平成20年2月現在、設置されている約60万台の約1%である。だからこそ地上デジタルテレビの整備に係る補助金制度を文部科学省は考えている。地上デジタルテレビ放送を実際に使用した先生からは、高画質・高音質なので児童・生徒の興味関心が向上すること、他の機器との連携によって知識・理解の定着に効果的であったという報告がある。また、デジタルテレビの効果的な教育活用についての指導案等を公開していて、実際に活用できる（www.chidigi.jp）。

(3) 武田一則氏

デジタル教材はあくまで番組利用のためにある。デジタル教材を使えば、どんな番組がいつ行われているのかなどがわかる。そして、デジタル教材は資料やデータなどを提供できる。ダウンロードできるようにすると、もっと使いやすいで、活用度の高いものからダウンロードを考えている。

3 まとめ（中川一史先生）

思考力・表現力を育てる3要素は、充実したコンテンツ、使いやすく快適なデジタルテレビ放送・ICT環境、そして、それらを有効活用するような授業デザインである。教師も子どもも、日常の教育活動の中で、こうしたコンテンツや環境に慣れ親しんでいくことが大切である。